



所 管	教育委員会事務局文化課		
担 当	三宅	問い合わせ	0573-26-2153
所 管	中山道広重美術館		
担 当	中村	問い合わせ	0573-20-0522

報 道 機 関 各 位

企画展「狂歌とめぐる広重の東海道」の開催について

上記企画展の開催についてお知らせします。ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

記

1. 会 期 令和7年1月23日（木曜日）から2月24日（月曜日・振休）
開館時間：午前9時30分から午後5時
（入館は午後4時30分まで）
休館日：毎週月曜日（ただし24日は開館）、2月12日（水曜日）
2. 場 所 中山道広重美術館 展示室1
3. 内 容 広重が保永堂版東海道の次に手掛けた東海道揃物「東海道五拾三次」は、画中に狂歌が添えられていることから「狂歌入東海道」（きょうかいりとうかいどう）と通称されています。中判という小ぶりの判型ながら、透明感のある色彩と、余白を意識した構図の成す伸びやかな風景描写が魅力の作品です。本展では、狂歌入東海道を江戸から京まで全点揃いで紹介します。
4. 主 催 恵那市、恵那市教育委員会、（公財）中山道広重美術館
5. 料 金 一般520円（20人以上の団体は420円）
※18歳以下無料
※障がい者手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳）をお持ちの方と付き添いの方1人は無料

※毎週水曜日はフリーウェンズデー、毎週金曜日はフリーフライデー（共に終日観覧無料）

※毎月第1日曜日は「市民の日」で恵那市民に限り観覧無料

6. 本展の見どころ

(1) 狂歌入東海道の全点揃いでの展示は約10年ぶり

前回当館で狂歌入東海道を全点展示したのは平成27年春でした。今回の企画展は、約10年ぶりに全ての作品を揃いで出陳する機会となります。

(2) 江戸の人々が熱中した浮世絵と狂歌のコラボレーション

狂歌とは、和歌の形式の中に機知や滑稽、風刺などを詠み込んだ文芸です。江戸時代後期、江戸の町では狂歌が流行し、それに伴い狂歌本や狂歌摺物の制作が盛んに行われるようになりました。本展では、全ての作品解説に狂歌の読み下しと簡易訳を付すことで、当時の人々が親しんだ浮世絵と狂歌のコラボレーションを、観覧者の皆さまにもお楽しみいただきます。

7. 主な出品作品



左) 歌川広重「東海道五拾三次 原」

右) 歌川広重「東海道五拾三次 桑名」共に中山道広重美術館蔵

8. 関連イベント

(1) 学芸員による作品ガイド

日 時：令和7年2月2日（日曜日）午前10時30分から30分程度

場 所：展示室1

(2) 美術館ボランティア幽遊会による概要説明

日 時：随時（要事前予約）